

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 28 年 5 月 26 日 (2016.5.26)

【公開番号】特開 2015-188695 (P2015-188695A)
 【公開日】平成 27 年 11 月 2 日 (2015.11.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-067
 【出願番号】特願 2014-70152 (P2014-70152)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 28 年 3 月 30 日 (2016.3.30)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 1】

遊技盤と、該遊技盤に組み付けられた可動体と、を備え、前記可動体に所定の動作をさせて行う可動体演出を実行可能な遊技機において、

前記可動体のうち特定可動体による可動体演出は、該特定可動体を原位置から演出位置に移動させる動作を含み、前記特定可動体の原位置は、該特定可動体が所定の収容空間に収容されている位置に設定されており、

前記特定可動体が前記原位置にある状態において、前記特定可動体と、前記特定可動体とは別の部材であって前記遊技盤を構成する構成部材との間のクリアランスは、遊技媒体より小さく設定されていることにより、遊技媒体が前記特定可動体及び前記構成部材に跨って滞留可能となっており、

前記特定可動体が前記演出位置に向かって移動した状態において、前記特定可動体と前記構成部材との間のクリアランスは、遊技媒体より大きく設定されていることにより、遊技媒体が前記収容空間に流入可能に構成されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 5】

遊技媒体を貯留可能な貯留空間を備え、

前記収容空間と前記貯留空間とは、前記収容空間に流入した遊技媒体を前記貯留空間へ案内可能に連通されており、

前記貯留空間は、前記遊技盤において前記収容空間の下方に設けられていることを特徴とする請求項 1～4 のうち何れか 1 項に記載の遊技機。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【請求項 6】

遊技媒体を貯留可能な貯留空間を備え、

前記収容空間と前記貯留空間とは、前記収容空間に流入した遊技媒体を前記貯留空間へ案内可能に連通されており、

前記貯留空間の底部は、遊技媒体を機外へ排出するための排出部に向かって傾斜していることを特徴とする請求項 1～5 のうち何れか 1 項に記載の遊技機。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決する遊技機は、遊技盤と、該遊技盤に組み付けられた可動体と、を備え、前記可動体に所定の動作をさせて行う可動体演出を実行可能な遊技機において、前記可動体のうち特定可動体による可動体演出は、該特定可動体を原位置から演出位置に移動させる動作を含み、前記特定可動体の原位置は、該特定可動体が所定の収容空間に収容されている位置に設定されており、前記特定可動体が前記原位置にある状態において、前記特定可動体と、前記特定可動体とは別の部材であって前記遊技盤を構成する構成部材との間のクリアランスは、遊技媒体より小さく設定されていることにより、遊技媒体が前記特定可動体及び前記構成部材に跨って滞留可能となっており、前記特定可動体が前記演出位置に向かって移動した状態において、前記特定可動体と前記構成部材との間のクリアランスは、遊技媒体より大きく設定されていることにより、遊技媒体が前記収容空間に流入可能に構成されていることを要旨とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記遊技機について、遊技媒体を貯留可能な貯留空間を備え、前記収容空間と前記貯留空間とは、前記収容空間に流入した遊技媒体を前記貯留空間へ案内可能に連通されており、前記貯留空間は、前記遊技盤において前記収容空間の下方に設けられていることが好ましい。

上記遊技機について、遊技媒体を貯留可能な貯留空間を備え、前記収容空間と前記貯留空間とは、前記収容空間に流入した遊技媒体を前記貯留空間へ案内可能に連通されており、前記貯留空間の底部は、遊技媒体を機外へ排出するための排出部に向かって傾斜していることが好ましい。